

低学年からのキャリア教育と就職指導で 自ら考え行動できる学生を育てる

愛知工業大学
キャリアセンター長
津田紀生



1 愛知工業大学キャリアセンター

学校法人名古屋電気学園・愛知工業大学は、工学部、情報科学部、経営学部を擁し、製造業が盛んな愛知県豊田市に位置している。科学技術の発展のみに邁進するエンジニアではなく、人と地球に優しい血の通ったエンジニアを育てるため、「創造と人間性」を教育のモットーに、学生達のやる気と元気を引き出し、今まで地元企業を中心に多くの卒業生を輩出してきた。

多くの学生は、大学で専門的な勉強をすることを夢見て進学してくる。しかしながら、大学で学んだことが企業でどのように生かされるのか、自らのキャリア形成までは考えていない学生がほとんどである。また、大学での講義は座学が中心で、自ら考えみんなを引っ張って動くという経験は、学生時代を通じてなかなか得られるものではない。

そこで、愛知工業大学では、学生チャレンジプロジェクトという制度を作り、学生が様々な大会へ出場し、活躍するための機会と資金を提供している。

学生の就職に関しては各学科・専攻の教員が対応しており、キャリアセンターは、各学科・専攻の先生方と連絡を密にとりながら、学生対応している。近年は、キャリアコンサルタント、

産業カウンセラーの資格保持者や、企業や学校で活躍されてきた方々をキャリアセンター職員として迎え、学生の様々なニーズに対応している。

しかし、バブル崩壊、リーマンショック、そして現在進行中のコロナショックと、就職を控えた学生たちを取り巻く状況は、目まぐるしく変わっている。一方で、企業が学生に求める能力は学力、コミュニケーション能力、論理的に考え自らの考えを伝える能力等、昔から変わっていないと感じている。

2 低学年からのキャリア教育

愛知工業大学でキャリア教育が始まった当初は、3年にキャリア教育の講義を設置し、インターンシップへの参加を促していたが、近年の通年採用やインターンシップ参加学生の低学年化に対応すべく、令和元年度から2年にキャリア意識形成、3年にキャリアデザインと、2つのキャリア教育の講義を設置した。

キャリアセンターでは、2つのキャリア教育の講義を通じて、自らのキャリアについて考えることの重要性について早くから意識づけ、インターンシップに積極的に参加させることにより、卒業後のミスマッチを少しでも減らせればと考えている。また、自らの将来のキャリアを考え、学生時代に資格を取得しておきたいという学生に

して、様々な資格講座を設置している。

3 学生ニーズに合わせた キャリアセンターの運営

愛知工業大学では、キャリアセンターにきた学生のニーズを聞いて、その希望に沿った指導をしている。時には、企業の人事担当者や卒業生にキャリアセンターまで来ていただき、直接指導をしていただくこともある。

しかしながら、その時々々の社会状況により、学生自身が思い描いていたキャリアを考え直さなければならぬこともある。そんな時々に、思い悩む学生に寄り添い、意見や考えを聞き共感してあげることにより、学生自身が自ら考え、自分の次のキャリアを選択できるキャリアセンターになっていきたいと考えている。

